

「三陸沿岸道路」親子での現場探検ツアーの開催状況

見学会概要

日時：平成28年8月2日（火） 10:00～12:00
場所：気仙沼湾横断橋（仮称）、県境トンネル（仮称）
参加者：気仙沼市内の皆さま9名（父母5名、子供4名）

- 三陸沿岸道路「気仙沼道路」は復興のリーディングプロジェクトとして一日も早い開通を目指し事業を進めており、震災からの復興及び迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に貢献するものと期待されています。
- この度、気仙沼市内の皆さまを対象とした気仙沼湾横断橋（仮称）と県境トンネル（仮称）の現場見学会を開催しました。
- 道路が出来上がるまでの作業を見学することで、子供には土木工事の魅力を、保護者には工事内容や進捗状況、工事への理解を深めてもらうとともに、高速交通網の必要性を感じて頂くことを目的としています。
- 橋梁下部工やトンネル坑内の施工現場において施工状況を見学するとともに、クレーン操縦席への乗車や発破音圧体験、防水シートに記念のメッセージ記入など各施工現場で貴重な体験をして頂きました。

見学の内容

<気仙沼湾横断橋（仮称）>

- ①工事概要等の説明
- ②防錆加工鉄筋（I^o 杉塗布鉄筋）に触れてみよう
- ③クレーン操縦席への乗車
- ④薬液注入固化実験
- ⑤記念撮影

<県境トンネル（仮称）>

- ①工事概要等の説明
- ②発破音圧体験（坑内の防音扉の前で体験）
- ③トンネル防水シートにお絵かき
- ④記念撮影

見学の様子



▲工事概要の説明



▲クレーン操縦席への乗車



▲記念撮影（気仙沼湾横断橋）



▲トンネル坑内の見学



▲防水シートにメッセージを書く参加者



▲記念撮影（県境トンネル坑口）

参加者からの質問と回答・ご感想

<気仙沼湾横断橋（仮称）>

「防錆加工鉄筋（I^o 杉塗布鉄筋）は何の材料で施工されているのか？」→水や塩分をはじく特殊な塗料を鉄筋に塗布しています。

「なぜ、直ぐに水が固まるのか？（薬液注入固化実験にて）」→水ガラスという材料に酸をまぜると固まります。

<県境トンネル（仮称）>

「防水シートに絵をかけて良かった。」ノリで隠れてしまうが記念になった。」

「工事が最盛期の時期に現場を子供にも見せることができ良かった。」など